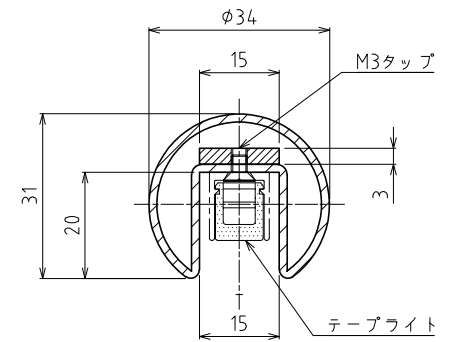
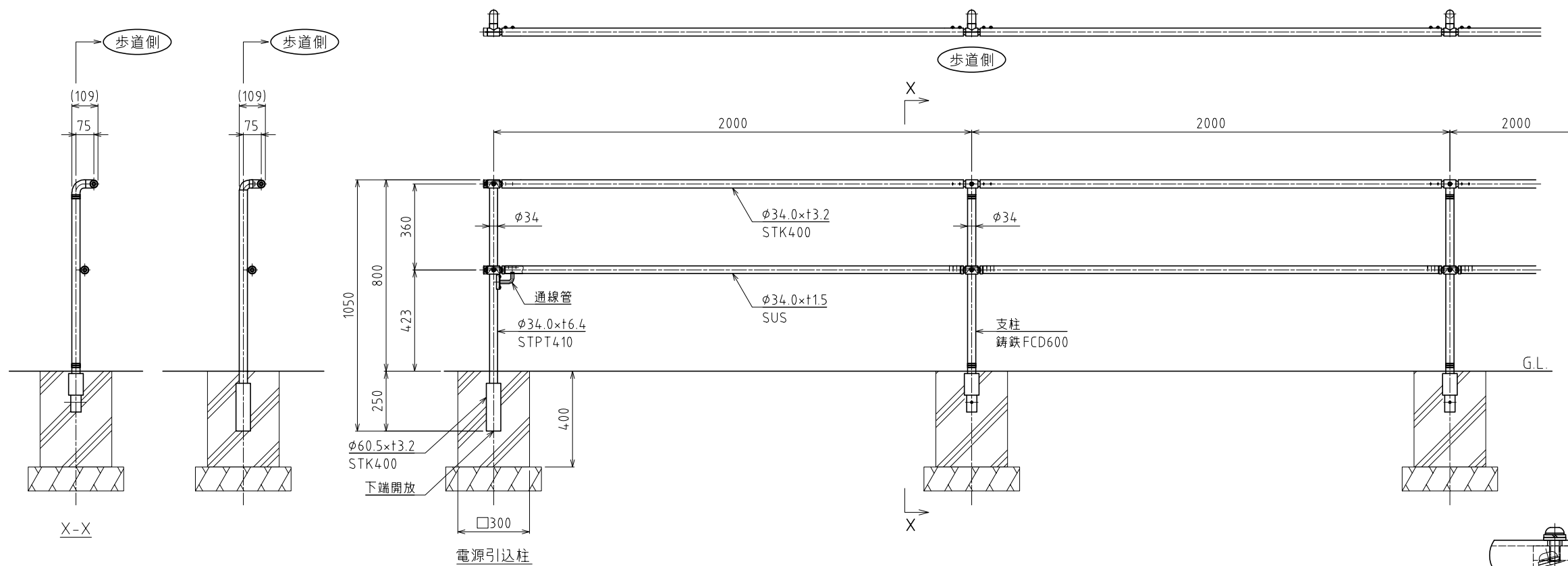
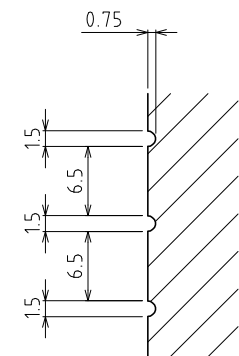
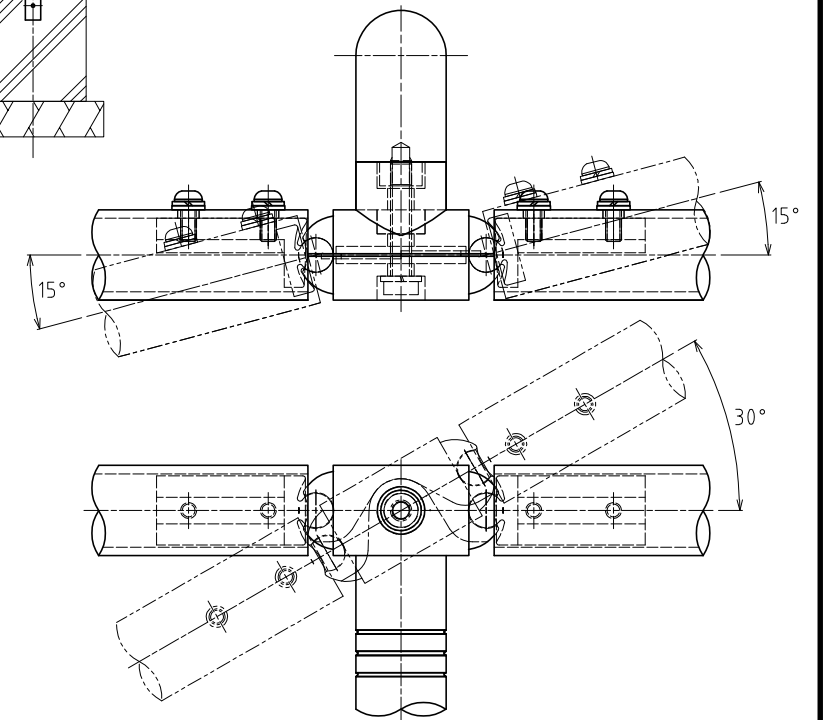


内照式横断防止柵 YF-GLA-080(基礎:コンクリート) S=1:15 (用紙A2)

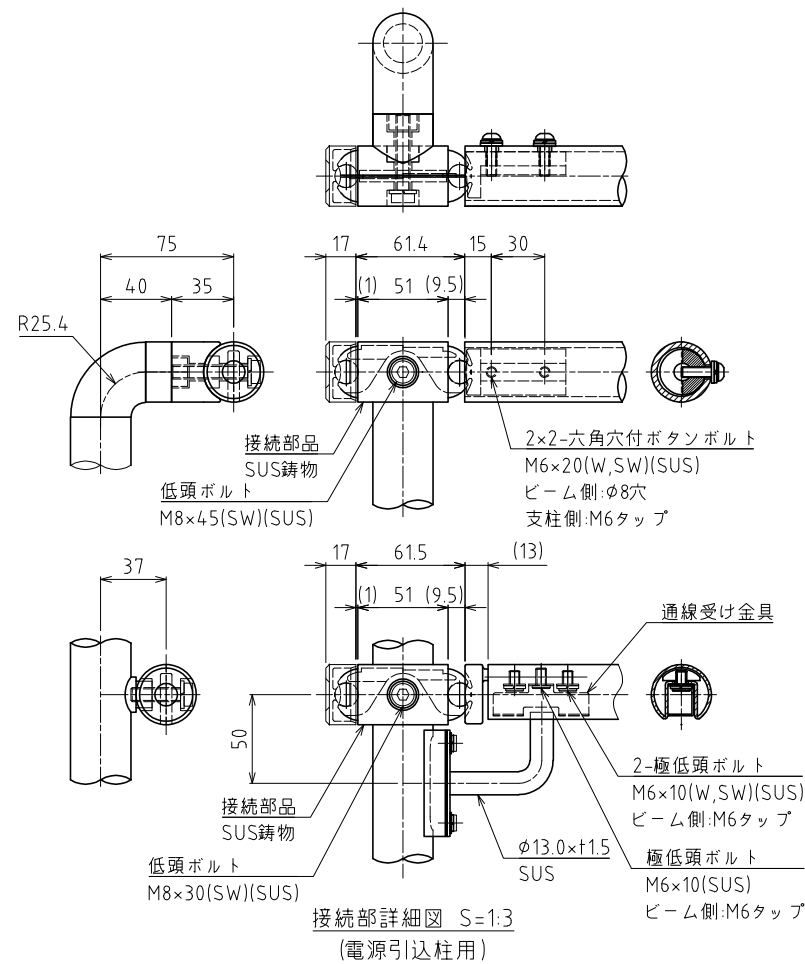


テーブライト取付部詳細図 S=1:1

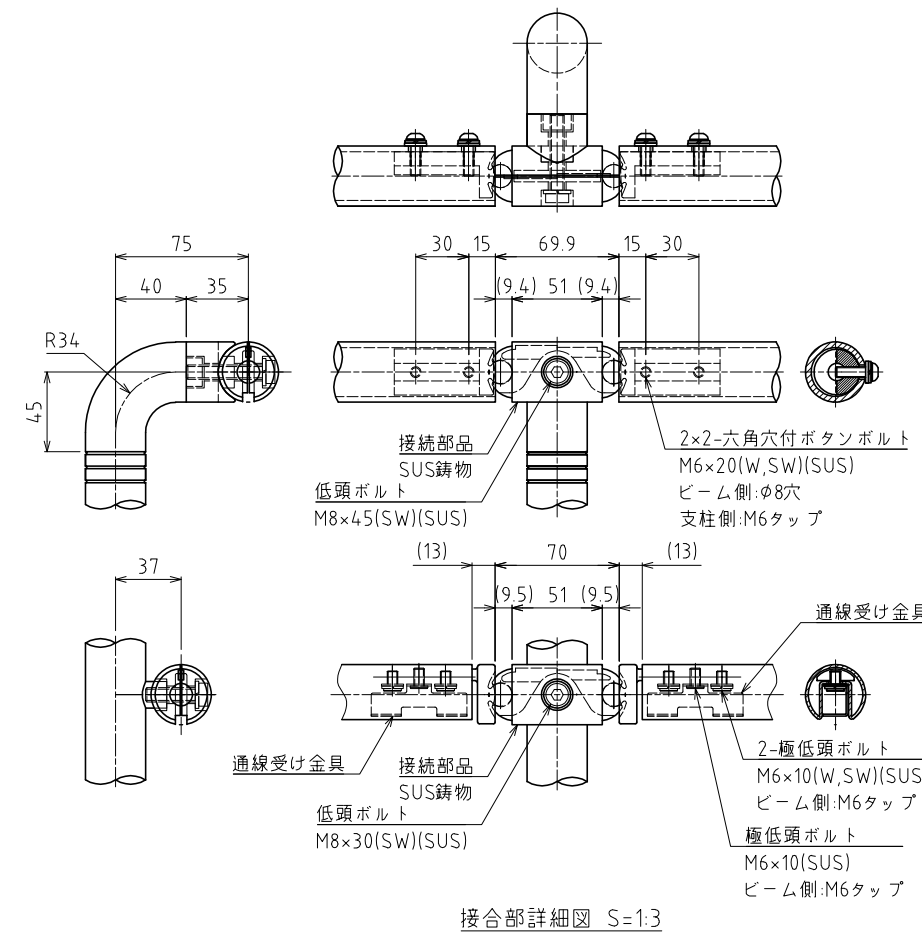


A部詳細図 S=2:1

接続部可動域図 S=1:2



接続部詳細図 S=1:3 (電源引込柱用)



接合部詳細図 S=1:3

**記事**

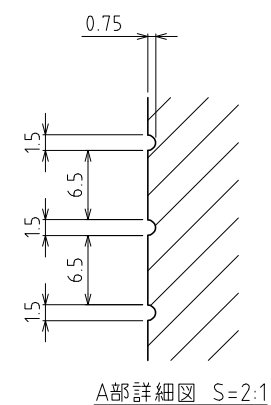
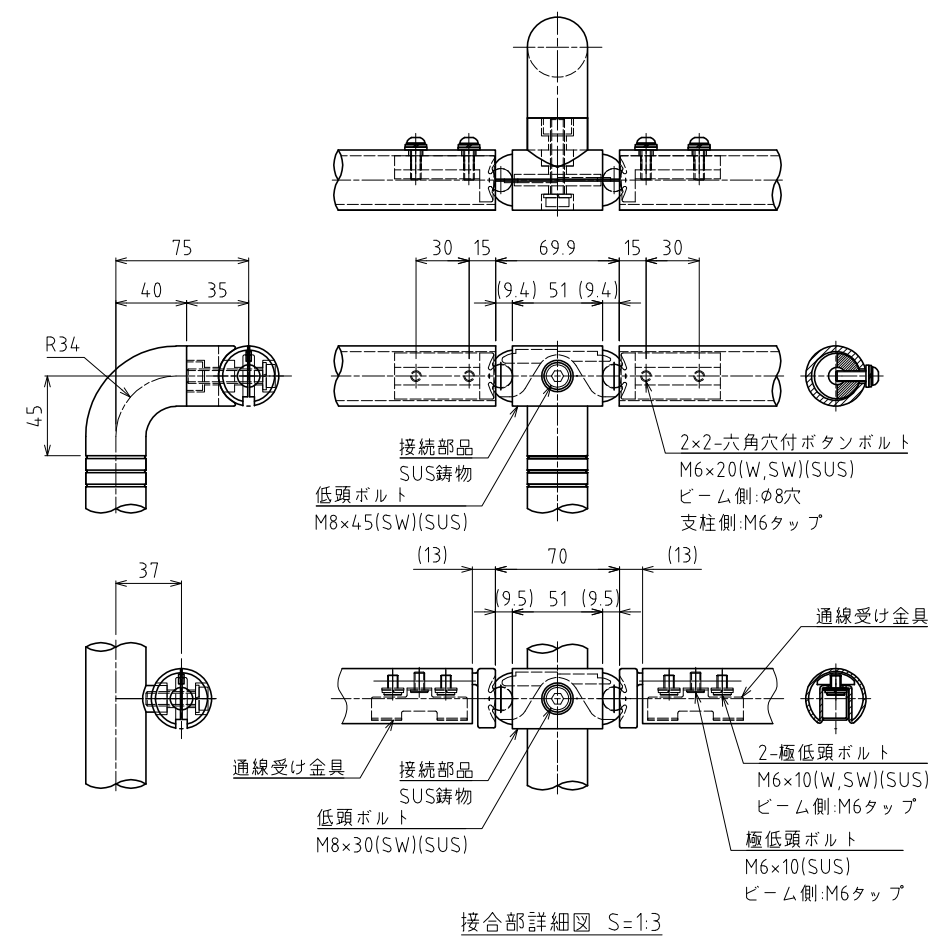
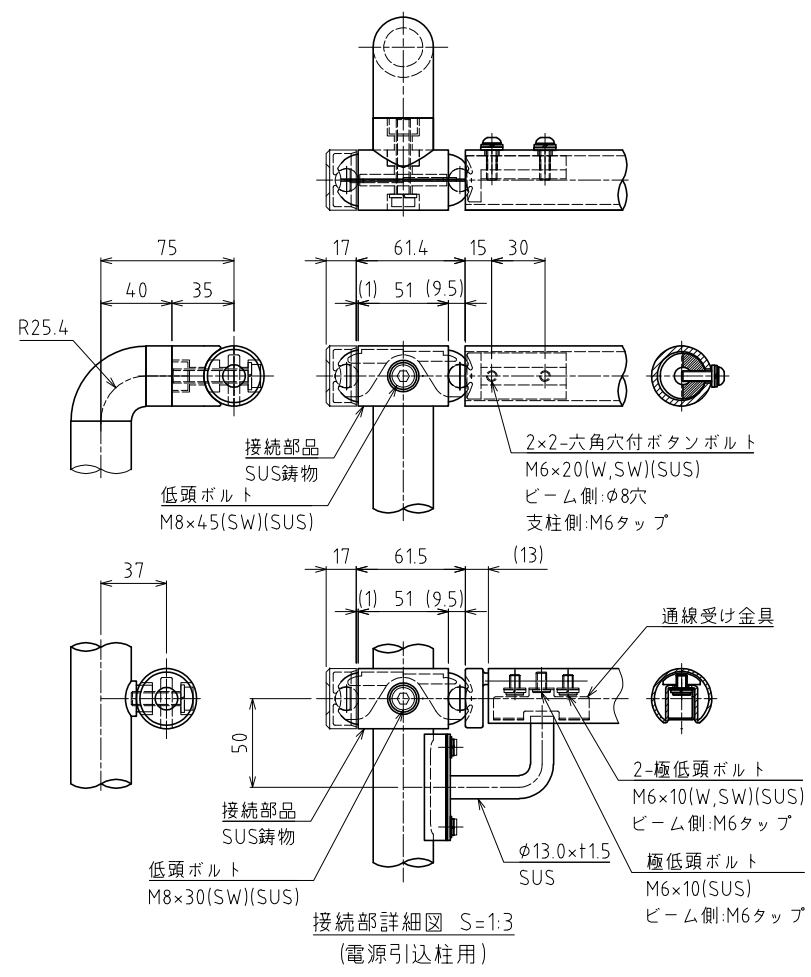
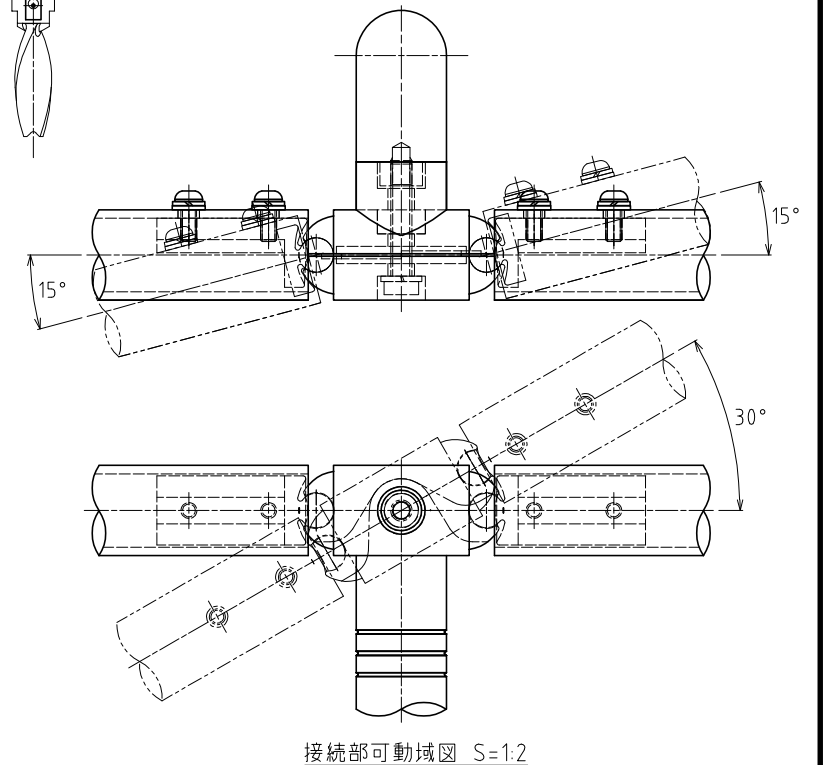
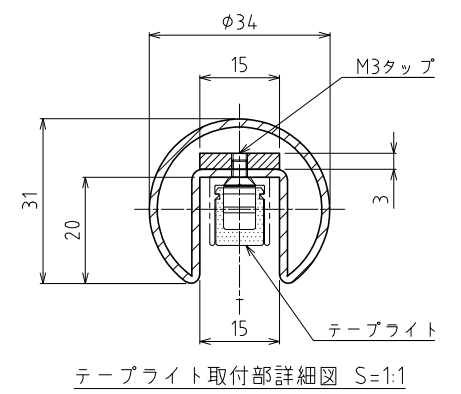
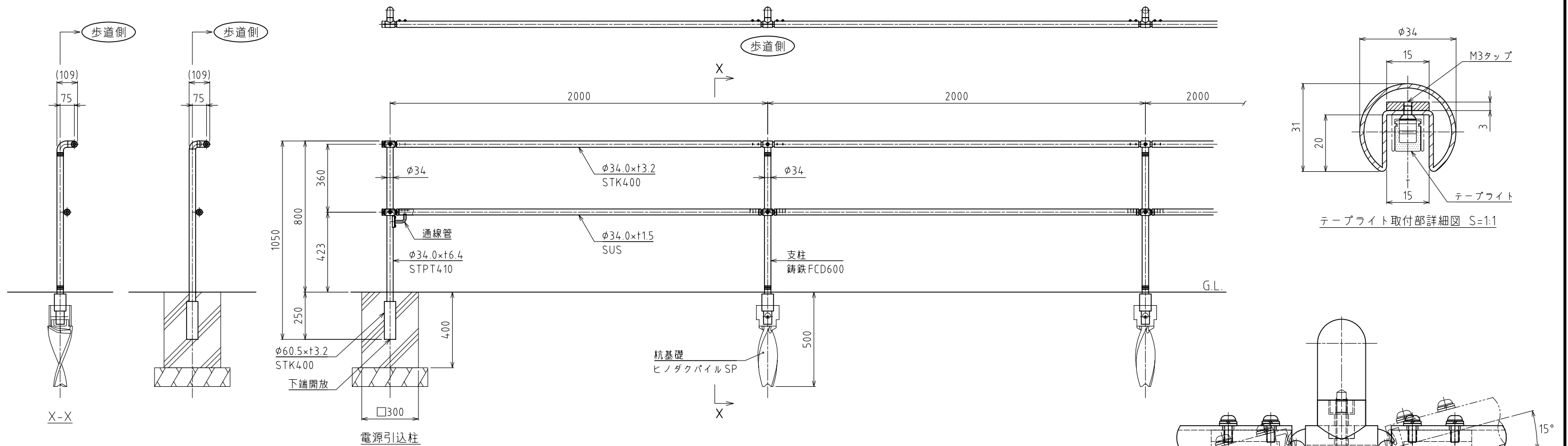
1表面処理  
 鋼製部：溶融亜鉛めっき(HDZT77)後、ステンコート塗装仕上げ。  
 ただし、板厚6.0未満はJIS H 8641に基づく。  
 鋳鉄部：亜鉛溶射後、ステンコート塗装仕上げ。  
 SUS,SUS鋳物部：プライマー処理後、ステンコート塗装仕上げ。

2指定色：

3鋪装厚を考慮し基礎天端がG.L.下となる場合は、支柱下端に単管を用いて基礎への埋込み長さを調整する。

\*改良の為、一部仕様を変更する場合がございます。

内照式横断防止柵 YF-GLA-080(基礎:ヒノダクパイルSP) S=1:15 (用紙A2)



**記事**

1.表面処理  
 鋼製部：溶融亜鉛めっき(HDZT77)後、ステンコート塗装仕上げ。  
 ただし、板厚6.0未満はJIS H 8641に基づく。  
 鋳鉄部：亜鉛溶射後、ステンコート塗装仕上げ。  
 SUS,SUS鋳物部：プライマー処理後、ステンコート塗装仕上げ。

2.指定色：

3.鋪装厚を考慮し基礎天端がG.L.下となる場合は、支柱下端に単管を用いて基礎への埋込み長さを調整する。

\*改良の為、一部仕様を変更する場合がございます。